

ホタテ漁本操業スタート！

今年のホタテ漁の本操業が 6 月 3 日からスタートしました。

今年のホタテ水揚げ計画量は 18,000 t。

6 月 15 日現在までの水揚げ量については、3,207 t と順調な滑り出しとなっています。

本操業に先立ち 3 月から行われていた漁場造成では、前年の本操業海域（沢木沖）で取り残した分を漁獲するとともに、稚貝の天敵であるヒトデの駆除を行いました。

雄武漁協では、漁場を 4 つに分けて毎年 5 月にそのうちの 1 区画に稚貝を放流し、3 年後に水揚げをします。本操業は 11 月末まで続けられる予定です。



※ホタテ水揚げの様子：雄武町観光協会より提供



「ホタテ」「バター」「醤油」町民へ無料配布

6 月 1 日、雄武漁協による町民向けのホタテ貝無料配布が行われました。町民への日頃の感謝を伝えようと平成 25 年度から実施しているもの。

配布されたホタテ貝は 6.2 t。当日の朝、雄武漁協の養殖作業用施設において、漁協職員と漁業者、町職員合わせて 50 人ほどが袋詰め作業を行いました。

今年は、殻付きのホタテ約 4 kg に加えて昆布醤油も配布されました。

また、北オホーツク農協から、昨年に引き続きバター 2 個とスキムミルク 1 袋が併せて配布されました。

各自治会の引き渡し場所では町民が次々と受け取り、「刺身の他に貰ったバターと醤油でバター焼きにして食べたい」と笑顔で話していました。



森から川、そして海へ。ミズナラ500本を植樹

雄武漁協が主催する「お魚を殖やす植樹運動」が、6月4日に雄武町中幌内の幌内川流域で開催されました。漁協女性部や漁業者、関係団体など105名が参加し、開会式では長谷川一夫組合長が「木を植え育てることで生まれる森の栄養分が、川から海へと流れ出し、海の生き物が育つ良い環境ができる」とあいさつ。

オホーツク総合振興局産業振興部林務課の担当者から植樹指導を受けた後、参加者は高さ20cm程のミズナラの苗木500本を1本ずつ丁寧に植えました。

この運動は1996年から毎年続けられており、今年で29回目を迎え、累計した植樹の本数は25,700本となっています。



第46回おうむ産業観光まつり開催！

第46回おうむ産業観光まつりが、6月29日（土）、30日（日）の2日間で開催されます。

29日の前夜祭では、ヨサコイソーランや迫力満点の花火大会が行われ、30日の本祭は競り市などの来場者参加型イベントやステージパフォーマンスも盛りだくさん！

たくさんの方のご来場をお待ちしています！

開催日時

【前夜祭】6月29日（土）17時30分～21時00分

【本祭】6月30日（日）9時00分～14時00分

会場 ふるさと100メモリアル広場



※マリンビジョンとは？

活力ある水産業や漁村の将来像を実現するため、水産物の安定供給体制や環境保全と循環型社会の構築、漁村地域の総合的な振興を目指す将来ビジョンです。



【編集・発行】

雄武地域マリンビジョン事務局

【問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係

Tel：0158-84-2121 Fax：0158-84-2844

E-mail：suisan@town.oumu.hokkaido.jp